

横浜市社会教育コーナー 令和5年度事業計画

事業実施の方針

市民が社会参加しながら地域の課題をみつけ、主体的に課題を解決し、豊かな人生を送ることを目指します。社会教育施設として「学び」による地域づくり、つながりづくり、人づくりを推進します。

	事業名	目的	内容	回数
事業の目標1 社会参加 主体的な参加のきっかけづくり	社会教育の場の運営		利用者が主体的に活動にかかわれるよう、挨拶や声かけなど職員が利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、風通しの良い意見の言いやすい関係を構築する。研修室・アートルーム・スポーツ広場等の適切な管理と充実した運営を職員全員で行う	随時
	ホームページの管理		自主事業をはじめ市内機関・施設・団体のイベントや講座情報をTwitterにて掲載し広く周知する	随時
	メールマガジンの発行	横浜市内を中心に各機関・施設・団体等の情報の収集・整理・発信を行い、市民や団体へ幅広く社会参加につながる情報の提供をし、社会参加のすそ野の見える化をすすめる	ホームページに掲載した情報を中心に機関・施設・団体等の各種情報を登録者に定期的に配信提供する。月1回発行	12
	ブログ・ツイッターの配信		社会教育や学習に関する身近な情報をブログで発信し、社会教育や学習に関心をもってもらうきっかけとする	随時
	掲示板や館内掲示の充実		コーナー前の歩道に設置されている掲示板を一部開放。又、館内の壁、配架ラックに市内機関・施設や団体のイベントや講座のポスターやチラシを配架・掲示する	随時
	相談・コーディネート	専門の職員(社会教育士やコーディネーター)を配置し、市民の社会教育や生涯学習に関する相談、生涯学習関係職員の相談にきめ細やかに対応する	相談者の学習活動が活発になるようICTも活用しながら、助言や必要な情報を提供する。また、相談内容の記録を蓄積し内部で共有することにより相談業務を円滑に進める	随時
	読書活動による社会参加 場づくりと交流	おはなし会ボランティア養成講座修了生や地域・学校で読み聞かせやおはなし会をしている人たちに実践の場を提供	幼児から大人を対象に「おはなし会」を実施。併せて実践者同士の交流を行う【共催事業】	8
	親子の広場	乳幼児をもつ親同士がともに子育てや社会的課題について学びと共につながり、仲間づくりや社会参加の一步を支援	楽しい雰囲気の中で手遊びや歌遊びを行うことで、交流を深め、顔見知りを作る機会とする。活動団体との【共催事業】	5
	【新規】若者の社会参加 若者企画体験プロジェクト	若者(学生・企業人)が集い、自由な発想で活動できる場をつくり、プロジェクトを通して地域の異なる世代の人と関わる機会を提供し、社会参加を促す	プロジェクトメンバーで交流をしながら、テーマを設定し学び合い、まちづくりに関する講座やイベントの企画体験をする。活動団体や学校などにも声をかけ、青少年や若者がコーナーを利用し学びあう機会とする	3
事業目標2 つながりづくり 多様な主体との連携・協働の推進	学校・地域コーディネーターの ネットワークづくり	学校と地域をつなぐ学校・地域コーディネーターが活動しやすい環境づくりを支援する	交流・情報交換会を実施し、課題を共有し、ネットワークづくりや専門スキルの提供の他、伴走支援、地域施設や企業等へつなぐサポートを行う。また、区、市の担当課との連絡、調整、連携を強化していく	3
	図書館と市民活動・生涯学習支援 センターの連携支援	図書館と市民活動・生涯学習支援センターが連携できるようコーディネートすることにより、双方の強みを生かした事業の実施を支援する	磯子図書館といそご区民活動支援センターが連携した事業を市民向けに行うことで、市民の継続した学習や活動に向かう	随時
	紙芝居等を用いた交流会	横浜市内各区にある昔話やそれを元に作成した紙芝居をツールにした交流会や相互学習を行う機会の提供	横浜の昔話を題材した紙芝居・影絵等を持ち寄り、実演発表しあうことで、活動者が区を超え横浜の物語に触れる機会をつくる	1
	磯子区NPO連絡会への参画	磯子区内のNPOと連携して事業を企画運営することにより、磯子区の様々な市民活動を活発にする	磯子区NPO連絡会と連携した取組の実施。いそご区民活動支援センターと共催する地域活動フォーラムに取り組む	6

	磯子区館長連携会への参画	磯子区内の施設の連携と情報共有をすすめる	磯子区内の施設長が情報交換や連携を図り、協力していそびゴールデンウィークを開催	4
事業目標3 人材育成 地域の学びと活動を活性化させる人材の育成	社会教育・生涯学習関係職員への対応・サポート	学習支援活動のための環境整備や主体的に活動する市民の育成など、学習を支援する職員としてのスキルアップをサポートする	各区支援センターや関係機関が抱える具体的な課題等について、必要に応じ、適切な解決が図られるよう支援を行う	随時
	よこはま社会教育士ネットワーク	社会教育士の学びあうコミュニティを支えるために情報・交流と力量形成に役立つ場を提供をする	社会教育士としてのスキルを高め、学習支援者として学び続けられるようサポートする。今後、ICTなども活用していく【共催事業】	10
	社会教育士を目指す人の育成	地域の学びを支える社会教育士を目指す人のための人材育成講座。受講者が講座終了後、各区で学びを支援する担い手として活動できるようになることを目指す	社会教育士について理解を深め、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力、コーディネート能力を身に付ける講座を実施	6
	【新規】地域のボランティアが学校に行くために	地域の人がスキルを活かして学校で指導者として活動するために必要なことを知り、身につける	部活の地域移行により、地域の人が学校の放課後の部活動として生徒に指導する際に必要な知識やスキルについて学ぶ。学校で活動をする前に守秘義務、人権、共生社会等について確認する。また学校の地域コーディネーターと交流する機会を設ける	3
	【新規】地域活動の担い手育成	市民活動団体の会議や市民企画事業の会議など、会議ファシリテーションについて学び、地域づくりの実践的な力をつける。	市内で生涯学習、社会教育、市民活動に関心を持つ市民が、ファシリテーションの目的や技術を学び、学んだことを地域で活かし、学び続けるきっかけとする	2
	【新規】地域防災 防災から考える地域づくり	専門家と連携し市民の地震防災・救急救命などを学び、地域防災の啓発・理解を促進する人材を育てる	災害ボランティア団体や専門家と連携し、日頃から防災に必要なこと、実際に起きた際の行動などについて学び、地域づくりに活かしていく。対象を小中学生から大人とし、異世代で学びあう場とする	2
地域課題への取組み	困難を抱えた子どもたちへの学習支援	学習障がいを抱えたり、様々な理由で学習の遅れが生じている子どもの支援をする	社会的課題支援事業として位置づける。毎週実施し学習の継続性を担保していく【後援事業】	40
	発達が気になりな子どもをもつ保護者のピアカウンセリング	発達が気になりな子どもをもつ保護者の仲間づくりの場を提供する	発達が気になりな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの実施【共催事業】	10
	多文化共生社会への意識づくり	いそぎ多文化共生ラウンジでボランティア活動をはじめの人にに向けた、多文化共生を理解するための学びや心構えを参加型のグループワークで身につける	ラウンジで外国人と接しボランティア活動をする際に身につけておきたい、多文化共生社会への理解や「やさしい日本語」について、ボランティアとしての心構えなどを学ぶ	1
その他の取組み	利用者会議	登録団体による利用者会議を実施し、意見交換の内容を管理運営に生かすことで、市民による市民のための施設を目指す	利用者会議での内容や結果を施設内やHPで公表し情報公開の徹底を図る	1
	利用団体アンケート	コーナーを利用する団体にアンケートを行う	利用団体にアンケートを行うことで日頃のニーズやコーナーへの要望など把握し、施設の運営にいかしていく	随時
職員研修	生涯学習・市民活動に関連する自主研修の設定および外部研修への参加	基礎研修の他、生涯学習や社会教育について、当団体のアドバイザー等による専門的な知識、スキルアップのための研修を行う。また、職員の外部研修等への積極的な派遣及び通信講座の受講を薦めるなど、各種の資格取得を推進する	職員研修をを重ねることで、社会教育コーナーの設置目標に向かって専門性を高める	随時